

年頭のご挨拶



一般社団法人埼玉県LPガス協会

会長 川本 武彦

令和3年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、常日頃より埼玉県LPガス協会の活動にご理解とご協力をいただくとともに、コロナ禍により経済活動が大きく制約されている中であって、保安の確保と継続的な供給に取り組んでいただいていることに厚く感謝を申し上げます。このことは消費者団体や行政からも「LPガスは目に見えないところで安定供給に努めている」と高い評価をいただいているところでございます。

さて、LPガスを取り巻く事業環境は大変厳しいものがあります。電力・都市ガスの自由化に伴うエネルギー間競争、地球環境対策としての2050年問題（CO₂実質ゼロ）、人口並びにLPガス世帯数の減少等がありますが、LPガスはクリーンで災害にも強い自立分散型のエネルギーであり、かつ、地域経済には無くてはならないエネルギーとしてその経済活動をけん引しています。お客さまの生活向上に大きく貢献しているエネルギーであることを自覚し、引き続き地域発展のために邁進して参りましょう。

私たちの生活様式は、新型コロナウイルスの感染拡大により一変いたしました。一方で、デジタルコミュニケーションが急激に普及するなど「未来が早くやってきた」とも言われております。ペーパーレスを含め、デジタル化推進により企業の効率化・情報化が進み、経済社会のグローバル化が一層進展すると予測されます。

埼玉県LPガス協会では、保安の確保と取引の適正化を両輪として、LPガスがお客さまから選ばれ続けるエネルギーとなるためにも、環境変化に柔軟に対応し、これまで以上に協会活動に取り組んで参る所存でございます。

特に、リモート会議を積極的に活用し、役員、会員相互の連携をデジタル通信により密にして、協会の結束を一層強化して参りたいと存じます。

役員、会員が一体となれば、業界を取り巻く事業環境問題にも対応していけるものと考えます。ウィズコロナ時代においても会員が一丸となり、LPガスの「青い炎」を灯し続けていきたいと願っております。

結びにあたり、会員会社のますますのご発展、代表者の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。